

令和7年度第1回箕面市子ども・子育て会議 議事概要

◆日時：令和8年1月23日（金）11：00～12：35

◆場所：箕面市役所本館2階 特別会議室

◆出席者：

【委員】

馬場会長、澤田委員、北本委員、山中委員、岸上委員、岩崎委員、福井委員、高岡委員、高橋委員、中井委員、高面委員、福田委員

【事務局】

藪本局長、今中担当部長、三島副部長、高取学校教育監、山根担当副部長、山田担当副部長、遠近担当副部長、吉田室長、今峰室長、新井室長、森川室長、長與室長、六島室長、赤城室長、辻センター長、川口室長、乾室長、徳留室長、渡邊室長、中村参事、平井

◆議事内容

1. 開会

2. 案件

（1）箕面市子ども・子育て会議について

①箕面市子ども・子育て会議の概要について

（事務局）

- （資料1に基づいて、箕面市子ども・子育て会議に関する全般的事項について説明）

（質疑応答なし）

（2）各部会からの報告について

- ①青少年健全育成部会からの報告について
- ②児童福祉部会からの報告について

(岸上委員)

- (資料 2-1 に基づいて、青少年健全育成部会からの報告について説明)

(事務局)

- (資料 2-2 に基づいて、児童福祉部会からの報告について説明)

(質疑応答なし)

(3) 第五次箕面市子どもプランについて

- ①第五次箕面市子どもプランについて
- ②第五次箕面市子どもプランの進捗状況について

(事務局)

- (資料 3-1 に基づいて、第五次箕面市子どもプラン概要について説明)

(質疑応答なし)

- (資料 3-2 に基づいて、子ども・子育て支援事業計画の実施状況について説明)

(福井委員)

- 当面 5 年の保育を必要とする乳児は、あまり増減がないように思うが、幼児はたった 5 年で減少傾向というところを今後どのように対応をしていくのかももう少し伺いたい。

(事務局：森川室長)

- 近年、就学前児童の数は、ほぼプラン通りだが、今、少し提供量的に足りてないということがあり、結果的には待機児童が発生したという現状になっている。
- やはり保育士の確保というのは最優先と認識している。
- ただ、われわれもこの入所の申請を受け付けて入所選考をやっていく中で、各施設の皆様に、何とか認可定員まで 1 人でも多くお子さんを受けていただきたいということで要望をずっとしてはいるが、それにお応えいただける施設とそうでない施設というのが最近如実にわかるようになってきている。

- 別の配慮というか検討も必要と考えているが、当面はやはり保育士をしっかり確保していくため、各施設の皆様にはご協力を引き続きお願いしていく。

(高橋委員)

- 保育士確保対策は、箕面市で力を入れて数年ぐらいやってるイメージがあるが、実際に資料3-2の1ページ(2)、(3)の1歳児、2歳児のところ、保育士の数が必要なところだと思うが、そういうところで待機が出ている。
- この待機の裏には、これは僕も実際に自分の子どもで経験したが、希望する園や保育所に入れない。僕の場合は1個先の駅まで行って、きょうだい別園になった、同じような保護者も一定数いると思う。
- お伺いしたいのが実際に施策として保育士確保対策をされていて、実際には金銭の話だとかも打ち出している中で、どれぐらい成果が出ているのか。何年か経ってる中で待機が出ていますというのは、それはあんまり上手くいっていないのではと率直に感じる。その辺の評価を伺いたい。

(事務局：森川室長)

- この保育士確保対策の効果に関するお話については、別な場でも高橋委員とは議論させていただいており、その時は保育士確保対策の事業目標として特に閾値を設定してないのは考えられないという厳しいご指摘もいただいた。
- 実際のところはこの閾値を設けるとするのは非常に難しい話にはなるが、何かの効果測定もしないといけないということで昨年、各施設にご協力をいただいて、アンケートを行った。
- 結果としては保育士確保対策として市が保育士に対して生活支援補助金を支給していることについて、非常に助かるというお話もあったが、ただ生活支援補助金をもらえる期間は基本的には3年までとなっている。
- 保育士の雇用主である事業者が、保育士が居住する宿舍の借上げの補助を活用している施設は、4年目以降も補助があるが、それ以外の補助金は特にない。
- そのため4年目になると、1年目の保育士よりもお金をもらってないという逆転現象が起り、それでモチベーションが下がるという回答もあった。
- 長く働いたらそれに報いるような補助金はないのかというご意見もいただいております、これをどうしていこうかというのが今の当面の検討課題だと思っている。
- 実際待機児童が出ているので、成果が出ていると胸を張って言える状況ではないことは承知している。

- 一方で、この補助金で非常に助かっているという保育士も実際にいらっしゃることは、アンケートでわかったので、成果がないとは思っていない。

(中井委員)

- 6ページと7ページのところで、ちょっと保育など私も利用したことがあり、事前に電話で予約を入れた際、「利用希望人数が多いため、その日はご利用できません」と言われたことがあった。
- ファミリーサポートに関しても、相談に行ったけど近くに支援員の方がいらっしゃらない、時間が合わない、ニーズが合わないと言われて帰っていったお母さんもいると思う。
- 本日、必要量(実績値)として出されているのは集計上仕方がないと思うが、断った件数や相談があったが支援につなげられなかった件数も数えているのか。
- その件数も必要量として出さないと、過不足ゼロで、良かった良かったにはならないし、よりサポートを充実させていくのなら、受け入れられなかった件数をカウントされているのかという点が気になる。
- それをやっていないと、結局この数字だけ見たら、できている、良かった良かったとなってしまうが、実際は違うと思っている。自分も利用していたので、その件数もカウントされているのか、今後その辺を課題にしていってもらえるのか質問したい。

(事務局：吉田室長)

- まずファミリーサポートですが、援助会員と依頼会員のマッチングという点では、こちらで把握してる限りは、概ね初回のマッチングはできていると認識している。
- しかし、初回マッチング後に、依頼会員と援助会員との間でやりとりする中で、「ちょっと今日はご依頼を受けられません」ということはあるかもしれない。
- 初回マッチングができている、できていないという点は、把握しているが、その後の個別の利用調整までは、把握できていないというのが現状である。
- ちょっと保育は、時間単位でご利用いただいております、今のところ空き枠があるという状況で認識している。
- ただ定員5名というところで、どうしても利用者の時間のご都合で同じ時間での利用希望が重なれば、お断りせざるをえない場合がある。
- 利用希望が重なった場合のお断りは、市では把握できてないところ。本日、

中井委員さんがご意見くださったとおり、お断りしてる部分も必要量という考え方は必要だと思うので、今後、実態把握に努めていきたい。

(福井委員)

- 今の6ページの関連で、一時保育のところで、今、箕面市内では民間保育園、認定こども園、地域型と7ヶ所を実施しているとのことだが、実態としては、数ヶ所休止状態という状況がある。
- 今、中井委員が言われたように、一時保育でもお断りしているケースが多数出ている。やはりこの必要量をどのようにとらえるかっていうのが、実態把握をしない限りは、常に過不足ゼロということになる。
- 一時保育は就労を希望される方や、リフレッシュを希望される方もいる。そういう意味では必要量を把握し、整備計画をしない限りは、箕面市内で一時保育の利用を希望される方の要望には応えられてないのではないかと思い、追加で発言させていただく。

(馬場会長)

- おそらく、今のところだけでなく、いろんなところで、例えば、保育所も全部足りていますって言うけれども、近くに行きたかったが、遠くに行かざるをえなかったとか、ニーズに本当に合ってるのかということと言うと、ニーズには合っていないけれど数としては満たされたというのは、どこの自治体でも言えることだが、たくさんあると思う。
- その辺の保護者の方の声をしっかり聞いていく、それを反映していくというのは、ぜひしていただきたいところである。

(北本委員)

- 先ほど第1子と第2子が違う保育所や認定こども園に通っているとのことだったが、優先的にそのきょうだいで同じ認定こども園等に通える制度はないのか。

(事務局：森川室長)

- 選考の時に加点しているが、ただそこばかり優先すると他の優先事項に該当する保育が必要な方が入れないということもあり、バランスの中で点数配分をしている。
- きょうだい同園を希望しているが、点数が低いと結果的に入れないということが起こってしまうというのが現状だが、同園希望者の優先度をさらに上げ

ると、他の優先度の高い、本当に入れないと困る人が入れなくなってしまうので、そこはご理解をいただきたいと思っている。

(北本委員)

- 例えば両親ともに働き出した時に、別々の保育園に送るというのはすごく負担だと思う。今、私はちょうど娘が、第2子を出産したばかりで、保育園に1人を預けるのでも、難しい時がある。だからできたら、いろいろな事情があるにしろ、きょうだい同じ保育園に預けられたらすごく理想だなと思った。

(馬場会長)

- そういうきめ細かいニーズにどう応えていくのかということも検討していただくと、現状は難しくても、今後どうしていくかっていうことで考えていただけたらいいなと思う。

(事務局)

(資料3-3に基づいて、第五次プラン進捗状況について説明)

(馬場会長)

- 会議終了予定時刻が過ぎているため、質疑応答について、次回に持ち越す、もしくは後日何らかの形で意見聴取をする方法をとるのか事務局にご指示いただきたい。

(事務局)

- 質疑応答については、後日メール等でご連絡いただき、回答させていただく方法でお願いしたい。質疑と回答内容については、委員の皆様にも共有させていただき、市HPでも公開する。

3. その他

(今後のスケジュール等を事務局より説明)

4. 閉会